



研究部会報告

●経営管理システム●

●第28回

日時：7月7日(土) 14:00~17:00 出席者：8名

場所：八丁堀 東京都勤労福祉会館

テーマと講師：「中国の古典『中庸』と21世紀」上田亀之助(杉野女子大学・上田イノベーション研究所)

21世紀がどんな時代になるかは未だよくわかりませんが、①グローバル化②多極化③相互依存化④個性化が進みボーダレス化して複雑化し混沌化してゆくと思われまます。2500年前に書かれたと言われる『中庸』は、中庸と誠実を旨とし、あんがい21世紀には役に立つような気がします。

●情報ネットワーク●

●第29回

日時：7月13日(金) 18:30~21:30 出席者：13名

場所：日本電気本社ビル会議室

テーマと講師：「地域流通VANの試み」高橋幸雄(東京工業大学)

仙台で行なわれた、自治体主導型地域流通VANの構築・運営に至る過程で発生したさまざまな問題を具体的に分析し、特にVANのサービスである受発注(EOS)システムについて、その導入効果を小売側、卸側それぞれの視点で定量的に論じた。今後の課題として、他VANとの連携、端末の統一化、コンサルティングの重要性等のテーマをとりあげ、活発な意見交換を行なった。

●第30回

日時：8月17日(金) 18:30~21:00 出席者：29名

場所：同上

テーマと講師：「EDIの動向と展望」溝口邦雄(日本電気) EDI(Electronic Data Interchange)の定義から始め、これを実現するための国際的制度(EDIFACT)成立までの歴史をまず概観した。ついで、その中の日本の立場・とりくみ方を当事者として報告した。さらに、EDIFACTの基本的ルールを説明し、具体例としてインボイスをとって、書面からコーディングの仕方を詳細に解説した。なお、今回はOR/MS SYS MNG 部会との合同研究会として行なった。

●最適化とその応用●

●第2回

日時：7月17日 14:00~17:00 出席者：17名

場所：帝人ビル17階

テーマと講師：(1) 火災判断ファジィエキスパートシステムについて 兼田真由美(松下電工)

火災報知設備における誤報低減を目的に、複数センサーからのデータをもとに「火災」「非火災」の判断を行なうファジィエキスパートシステムについて紹介された。

(2) ファジィデータによるパラメータ推定 奥田徹示(大阪工大)

人間の主観を伴うようなファジィ観測データにもとづく統計的推測の一方法として、モーメント法によるパラメータ推定の方法とその実用性が報告された。

●待ち行列●

●第64回

日時：7月21日 14:00~16:30 出席者：25名

場所：東京工業大学(大岡山)南4号館6階677号室

テーマと講師：(1) Markov process whose steady state distribution is matrix-exponential with an application to the semi-Markovian queue B. Sengupta(NEC Research Inst.)

ある種の semi-Markov 過程を考察し、待ち行列への応用を与えた。

(2) When arrivals see time averages

B. Melamed(NEC Research Inst.),

W. Whitt(AT&T Bell Labs.)

時刻 t までの平均到着数に関するASTAについて言及した。

(3) GI/G/S(N)の損失確率について 逆瀬川浩孝(筑波大)、宮沢政清(東理大)、山崎源治(都立科技大)

列長に制限のない系の定常確率を用いて近似式を得た

●合意形成と対外政策●

●第4回

日時：7月21日(土) 14:00~17:00 出席者：8名

場所：三菱総研第501号会議室

テーマと講師：「合意形成とAHP」高井英造(三菱石油)

合意形成の手法の一環としてAHPの利用について、氏の豊富な経験をもとに、どんなやり方でAHPが社内合意形成に貢献したかを話された。これに関し、同手法

が一見個人的決定を主流とするアメリカで生まれた理由や同手法の効果ないし限界などについて、部会員の経験をも交え、みのり多い論議がかわされ、新しい交流の芽が誕生した。

●動的計画法●

日時：7月23日(月) 18:00~20:00 出席者：4名

場所：日科技連

テーマと講師：「図形認識の高精度化について」河村一知(東工大、理)

SMP-05 (CARL ZEISS社)の細胞像吸光度データ(ADD)をベースに細胞像の高精度認識の手法について述べた。具体的には多次元マトリクスADDデータを標本として正常、異常を識別するシステムをもとに画像認識と統計学との関連について調べた。

●投資と金融のOR●

●第24回

日時：7月28日(土) 14:00~17:00 出席者：67名

場所：東京工業大学百周年記念館

テーマと講師：(1)「オプション応用商品……コンパウンド・オプション」吉原正善(住友信託銀行投資開発部) オプションを買う権利をコンパウンド・オプションという。本報告では、株価過程をディフュージョンでモデル化した場合の、コンパウンドオプションの評価式を導出した。またこの評価式を応用して、コンパウンド・オプションの発行者が、どのようにしてリスクコントロールを行えばよいか考察した。

(2)「Option Pricing when the Underlying Stock Price Follows a Birth-Death Process」岩城秀樹, 木島正明(筑波大・経営システム科学)

株価に影響を与える情報として2種類のもの(好材料・悪材料)を想定すると、株価変動は出生死滅過程でモデル化できる。しかしこのモデル化では、各株価変動要因に対するリスクプレミアムを、株価過程および利率のみから決定することはできない(証券市場の不完全性)。そこで本報告では、リスクプレミアムの性質を投資家のリスクに対する選好から特長づけ、条件付き請求権の上・下限評価式を示した。またいくつかの数値例によって、ここで提案した上下限式の幅が十分狭く、ブラック・シュールズ式と類似した評価値を与えることが確かめられた。

新時代のコンピュータ総合誌

Computer Today

9月号/発売中/定価930円

最新Xウィンドウシステムのすべて

Xウィンドウのすべて 篠田陽一・今泉貴史
はじめに
ウィンドウシステムの基礎知識
ウィンドウシステムの利用
X libプログラミング
ツールキットプログラミング
ウィンドウの将来

アルゴリズムアニメーション 榎原博之
ユーザインタフェースワークステーション
とネットワーク 笠原孝雄

<新連載>

プログラミングとロジシャン 野崎昭弘
MS-DOSシェルプログラムの技法 木下 恂
Cの高速コーディング 太田昌孝
アセンブラ入門 玉井 浩

月刊誌

数理科学

10月号/発売中/定価980円

アルゴリズムの発見

アルゴリズムについて 野崎昭弘
組合せアルゴリズム 仙波一郎
計算幾何学 今井 浩
フラクタルの経路積分法とその応用 鈴木増雄
流体運動の数値シミュレーション 石井克哉
桜木卓也

自然言語理解・構文解析 田野村忠温
事物のカテゴリ化 改田明子・箱田裕司
発生のアルゴリズム 土居洋文
遺伝的アルゴリズムと機械の進化 和田健之介
確率・近似・非決定性アルゴリズム 谷口健一
並列アルゴリズム 宮野 悟
データベースのアルゴリズム 上林弥彦

■最新刊

好評発売中

CGによるパソコン入門

芥沢正三著/A5/定価2266円

▶価格表示は、税込み価格となっています。

サイエンス社

東京都千代田区神田須田町2-4 安部徳ビル

☎03(256)1091 振替 東京7-2387